

# SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・  
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

**NPO法人 地域福祉サポートちた**

## もくじ

- |   |  |  |
|---|--|--|
| <input type="checkbox"/> のぞむ暮らしを創造する<br>地域円卓会議 …………… 1P | <input type="checkbox"/> サービスラーニング報告会 …………… 2P | <input type="checkbox"/> インターンシップ報告 …………… 3P |
| <input type="checkbox"/> 心のバリアフリー推進事業 …………… 2P          | <input type="checkbox"/> インフォメーション …………… 4P    |  |
| <input type="checkbox"/> NPO担当職員リレー …………… 2P            |  |  |

## のぞむ暮らしを創造する地域円卓会議

代表理事 岡本一美

みなさま、新年明けましておめでとうございます。昨年も多くのご支援ご協力をいただき、ありがとうございました。

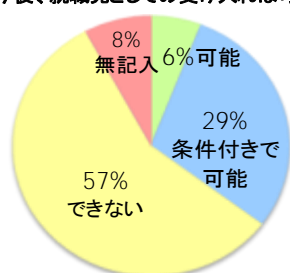
本法人では、現在25年度を振り返りつつ、26年度への準備に入ったところでございます。

年度当初、次の4つの取り組みの柱を立てました。①地域円卓会議設置支援②中間支援機能づくり支援③地域ネットワーク型就労支援④居場所づくりなど制度外事業創出支援。

①については、8月に行った「地域の公共人材育成」をテーマとした二重円卓会議を皮切りに、日本福祉大学地域連携推進プラットフォームへの支援、各自治体依頼の地縁型組織への支援等行ってきました。先進地域では、アンケート調査等課題把握に重きを置いて、行動計画づくりと実践へのスタートダッシュに円卓を活用しています。

②では、NPO法人ボランティアネイバーズとの連携により、幹部人材交換インターンシップを行っており、中間支援人材育成プログラムの開発をめざしています。2月13日刈谷市ボランティア市民活動センターで開催される、県内市民活動支援センター・NPO支援センター情報交換会でご報告させていただきます予定です。

今後、就職先としての受け入れは可能ですか



③は、知多地域子ども若者支援者ネットワーク会議で、知多市・半田市の職場体験事業者開拓のための調査(全58件)を行いました。受け入

れていない93%の事業所の約4割が「依頼がないから受け入れていない」と答え、就職先として受け入れ可能かを聞いた設問には、3割が「条件付きで可能」と答えています。この調査報告会を2月21日に日本福祉大学原田正樹教授の「生活困窮者自立支援法」の学習会を重ねて開催します。

④に関する活動は、フードバンクプロジェクト@ちたの始動。常滑市にできた外資系大型食料品店と常滑市社協との連携により、27団体に食品を配布しています。今後、高齢者の居場所やコミュニティレストランの立ち上げ支援にこの仕組みを重ねていく予定。年度内にレシピコンテストなど、地域支え合い体制づくり事業費を活用した事業に取り組みます。

医療・介護など社会保障改革の道程を示したプログラム法が先月初めに参院本会議で成立しました。団塊世代が75歳以上になる2025年に照準を合わせ、150兆円に膨張する給付をできるだけ抑える方針、しかし個別分野の法改正が進んでいません。消費増税が迫る中、どんな暮らしを願うのか、どこまでを自力で行い、どこからを公財政に頼るのか、地域ごとの知恵の寄せ合いの場づくり＝地域円卓会議設置と実践が急務です。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

### 「NPOリーダー研修@ソウル報告会」

日時 1月29日(水) 16:00～18:30  
会場 東海市立市民活動センター会議室  
資料代 1,000円

\* 事後に懇親会を予定しています

## ■日本福祉大学サービラーニング報告会

12月14日(土)に行われた報告会では、サービラーニングの目的である、学生が市民としての自覚を高め、社会課題への理解を深めることができたかどうかを再確認する場になった。受け入れたNPOは、各々の取り組みや課題を見直すきっかけにもなった。地域で若者を育てるという役割にNPOもその一端を担っていると改めて感じた。



7つのテーマ ①地域で行う子育ての意義 ②どのような学童保育所が必要か ③なぜチャレっこらぶを利用しなければいけないか? ④障がい者の性問題 ⑤認知症に対する一般的なイメージと実際の関わりから見えるもの ⑥NPOの人材不足 ⑦中間支援とは—NPOと社協の違い、が報告された。

学生が各々の活動現場から気づいたことを研究課題として取組んだ発表はクラス毎に行われた。内容は、まだほんの導入部分のため今後、これらの課題について学生がもっと深めていってほしい。(竹内・海老原)

## ■心のバリアフリー推進事業 実施報告

平成19年3月に策定された「愛知県障害福祉計画」に基づき、その地域の実情を踏まえながら障害に対する正しい理解の促進を図るための協働企画として、12月11日(水)「障がい児・者の虐待を考える」心のバリアフリー推進事業を受託、知多市民体育館にて育成会、支援団体職員、行政、一般市民など179名が参加、毎日新聞社論説委員の野沢和弘氏を迎え「心で受け止める障がい者虐待防止法」の講演会を行った。

野沢氏は、自閉症のご子息の保護者としての実体験や数々の虐待事件などを例に挙げ、虐待の本質と起こりがちな構図などを語った。虐待がいつ生まれるかもわからないという認識と、芽が出た時にすぐ発見できる風通しのよい職場づくりが



NPO法人知多地域成年後見センター今井友乃事務局長をコーディネーターに迎え16グループが意見交換した。

虐待をエスカレートさせないことと訴えた。また養護者は、当事者の行動分析から長所を探り出し、真のニーズを発見し、その実現に向けた支援を進めるべきであるが、心に余裕がなく負荷が大きくなると問題行動が見えなくなるため、自分自身が幸せな人生を送ることが虐待を防ぐ一番の近道という言葉が印象的だった。後半のグループワークは、普段接点のない参加者同士が「自分の立場でできること」をテーマに対話したことで各自、役割や気づきが得られた。これを機に「誰もが支援者」という自覚を持ち、地域で話題にしたり施設職員研修などの機会が持たれることを願う。(山森)

### NPO担当職員リレー

北名古屋市長務部市民活動推進課

主査 樋口由訓さん



「設置3年目の部署ですが、初年度は半年間の地元民間企業への派遣で業務を離れたこともあり、経験は浅いです」と、日焼けした笑顔に白い歯が光る。

平成9年4月当時の師勝町役場に入庁、平成18年3月20日西春町との2町合併を機に社会福祉課を担当し、平成23年4月から現在に至る。

担当する地縁には、各々に大切にすべき慣習・成り立ちもあるが、お互いを認め合いながら市民が一枚岩になる事が必要と感じ、その想いを繋げる段取りを仕掛けていく。

豊かさを求める社会は効率を選び、結局幸せが遠回りすると懸念する。だからこそ一律な支援ではなくその人の身になって感じることを優先させる。重責ゆえに難しくなりがちな自治会長を助け、退任後のまちづくりにその知恵と地域人脈を生かしてほしいと考える。

会って話を聞くことから寄り添い、一緒に考えていくことを皆が求めている。時間はかかるが、地域の方々を始め、人生の先輩から学んだ大切なこと、すべては人との出会いを大切に、そして人と会うことで信頼関係を結び、つながる中から新たな分野を開き、ニーズの中からまだ見ぬものを産みだしていきたいと目を輝かせた。(市野)

## ■インターンシップ報告

現場体験研修は、NPOの理解をはじめ協働の必要性の認識、各々視点に立った関わりの意識が高まるとして、希望する学生・行政職員・企業社員を5～10日間受け入れている。今年8月～12月に受け入れた大府市職員2名と愛知県2年目職員10名(写真)の事後レポート(抜粋)は以下の通り。

### ①福祉子ども部 福祉課福祉係 榊原紗希



受身ではなく職員自ら現場を見て想いを傾聴することで課題の本質を理解することで対応も変わる。協働して解決できる分野と行政主導でないに進まないコーディネートもある。私たちには、的確な判断をしていく重責がある。

### ②企画政策部 秘書広報課広報室 加藤厚史



NPOのアンテナは非常に敏感で、高度化・多様化する解決の知識や経験を共有し複数の力で解決する方法を持つ一方、国や地方自治体の情報を十分につかめずに事業を進めるのに苦勞をする、という実態があることも分かった。

### ①知多県税事務所総務課 木下沙耶



単身世帯が増え人と接する機会が減る中で交流の場は大切。地域の困りごとなどはその地域でしかわからず、円卓会議で現場の声を聞くということが非常に重要だと感じた。

### ②知多建設事務所 道路整備課 永田史孝



同じ行政でありながら市町村職員と比べ県職は地域への密着が薄いため、NPOや市町村の意見を吸い上げ、全体としてどのような案が最適として出来るのか、考えることが重要な仕事かと思う。

### ③知多農林水産事務所 農業改良普及課 内田祐太



中間支援組織の役割は重要で、県の研修制度をNPOも受講するような人材育成支援が必要。所属課では、産地維持や耕作放棄地対策、農業の担い手育成等の問題にJA等と協働して取り組む中でコーディネート、ファシリテート機能がうたわれるため、同じく橋渡し役の勉強になった。

### ④あいち産業科学技術総合センター 村瀬晴紀



“NPOとは何か?”の答えが、自分の中で大きく変わった。NPO活動の背景には様々な歴史や苦勞があり、人と繋がることで大きな活動が出来ることを、身をもって体験することが出来た。

### ⑤心身障害者コロニー 養楽荘支援課 浅野果那絵



NPOで働く人の魅力、特に代表の積極的で周囲を巻き込む力は地域のネットワークの強みになっている。福祉のみ精通ではなく、政治的視点をもって社会的見識ある方も多くNPOの認識が一転した。

### ⑥知多建設事務所 維持管理課 勝寄中道



NPOで働く多くの人が自分の考えを持ち「～が足りない、～が必要だ」問題意識で仕事に取り組む。地域社会が求めることを実行するまでの考え方、方法を模索する姿勢は行政にとっても共通する。

### ⑦総務部税務課 古居拓也



在宅支援体験ではその必要性を改めて感じた。他地域で活動する人たちとつながることで、情報の共有や資源の有効活用を可能にし、このような盛んな活動が成り立っているのだと感じた。

### ⑧建設部建築担当局建築指導課 杉野友香



市民ネットワークの強さ「つながりたい！」を「つなげよう」とする対応の素早さには驚嘆した。「相手理解」と「傾聴」の心を大切に、日々の仕事やご相談いただく県民の皆様に向き合いたい。

### ⑨春日井保健所生活環境安全課 楠神枝里香



絆、助け合い、笑顔、愛… NPO研修での6日間を通して行政職員というよりは、私個人として今まで以上に思いやりや助け合いの心を持って人に接していきたいと思うきっかけになった。

### ⑩西三河県税事務所 山本真由美



現場実習で認知症の方と過ごした。今までは急に怒り出す人に距離をとっていたが、きちんと向き合うことで最後は歌を歌ってくれた。実際に人と関わることを体験しないと気付けなかったことだと思う。

# サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

## ■絆 20周年記念イベント“あしたの絆”

“明日の元気は今日の選択～夢のみずうみ村から学ぶバリアフリーの極意～” 夢のみずうみ村代表 藤原茂氏講演  
「生・き・る支援」、映像で綴る絆20年のあゆみの上映、和太鼓演奏‘巴’などを開催する。(参加費無料)

<日時> 平成26年1月25日(土)13時半～16時20分  
<会場> あいち健康プラザ プラザホール(定員800名)  
<問合せ> (N)絆 ☎0562-83-7563

## ■タウンミーティングIN名古屋

テーマは“福祉用具と住宅改修” 福祉住環境コーディネーター対象の講演会で興味のある方も参加可(無料)  
◇講演:「住環境整備における福祉用具の活用について」  
◇交流ミーティング (※第二部懇親会は参加費有)  
<日時> 2月1日(土) 第一部 13時～16時  
<会場> 名城大学名駅サテライト(ユニモール地下街4番出口)  
<問合せ> (一社)わがやネット ☎0569-47-7153  
<HP> <http://www.wagaya.net/>

## ■お雛さま募集 展示期間: 3/8(土)～3/16(日)

生活様式の変化で日の目を見なくなったお雛様や自慢のお雛様を展示会場:阿久比町勤労福祉センター(エスペランサ丸山)で飾ってみませんか?相談の上、引き取り可。  
<持込> 2月24日(月)～3月5日(水)、(N)もやいまで  
<問合せ> (N)もやい ☎0569-48-8249  
<メール> moyai@cac-net.ne.jp

## ■発達障がい支援スペシャリスト養成 基礎コース

発達障がいの基本的な知識から支援者として必要なスキルとマインドを学ぶ。感覚統合と応用行動分析を活用した支援方法をお伝える。  
<日時> 全木曜日4回(2/6、13、20、27) 12時～14時  
<会場> (N)あつとわん  
(春日井市中央台1-2-2サンマルシェ南館B1F)  
<受講料> 4回で20,000円  
<問合せ> (N)あつとわん ☎0568-92-5481

## ■起業の学校 通信クラス(初級)モニター受講生募集

通いたくても時間的・距離的に難しいという方に、課題提出やメールのやりとり等によりノウハウを学び、起業のための第一歩を踏み出すサポート体制完備の通信クラスを新設、モニター価格で提供する。

<日時> 1月～7月 (スクーリング: 1/25、4/19、7/19)  
<スクーリング会場> 貸し会議室名古屋 WA東桜店  
<モニター価格>65,000円(教材含) (定員12名)  
<問合せ> (N)起業支援ネット ☎052-486-4101  
(名古屋市中村区本陣通5-6-1 地域資源長家なかむら2階)  
<HP> <http://www.npo-kigyo.net/tsuushin2014/>

## ■福祉人材養成講座 全会場:ネットワーク大府研修室

介護職員初任者研修☆平日コース 1/15～3/18  
精神障がい者ホームヘルパー養成特別研修 2/22～3/8  
行動援護従事者養成研修 3/3、7、14  
全身性障がい者ガイドヘルパー養成研修 3/1  
同行援護者養成研修(一般課程)3/4、10、11、12  
<問合せ> (N)ネットワーク大府 ☎0562-44-3735

## ■職員募集! ふれ愛福祉有償運送(移送サービス)

<内容>60～65歳まで、要普通車免許証。利用者の移送サービス、デイサービス利用者の通所送迎と介助。  
<面接>随時 ☎0562-36-0085 担当:山川  
<問合せ> (N)東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛

## ■サポートちた 会場:各市民活動センター

フォトレポーター募集@知多 1/17 18時半～20時  
ソウル研修報告会@東海 1/29 16時～18時  
組織運営強化ゼミ@一宮 1/11、2/1、各13時～15時  
3/8のみ知多地域NPO現場見学バスツアー9時～17時  
NPO法人会計講座\*愛知県@知多 2/12 13時～17時  
中間的就労調査学習会@知多 2/21 18時半～21時半  
情報流通促進事業フォーラム@刈谷 3/1 13時半～  
上映「そっちやない こっちや」～コミュニティ・ケアへの道～  
@知多 3/6(木)10時～12時

※詳細については市野までお問い合わせください

## NPO現場見学バスツアー



【1/23 NPO・行政・地縁との連携】  
9:30集合 10:00出発～16:00帰着  
参加費:5,000円

※見学と座学など、目的に合わせたオプショナル研修を組んでみませんか?  
ご相談は無料です(担当:江端)



特定非営利活動法人  
地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1  
知多市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631  
Fax 0562 (33) 1743